



5月2日には、授業参観やPTA総会、学級懇談会にご参加いただきありがとうございました。

早いもので、5月も半ばを過ぎました。ゴールデンウィーク明けの週には、気温の変化の大きさ、新年度スタートからの一か月の疲れなどもあってか、体調を崩し、欠席や早退の生徒が増えました。体調管理には十分気を配り、学校生活を元気に送ってほしいと思います。

16日(木)、17日(金)には、中体連の春季大会が行われます。湖西中選手団も、日頃の練習の成果を発揮すべく、それぞれの会場で熱い戦いを繰り広げてくれるものと期待しています。春季大会の様子は、次号で報告させていただきます。

学習強化週間スタート

さて、来週から学習強化週間になります。これまでは、中間テストウィークとして部活動は停止し、全校一斉に定期テストを行うという形をとっていました。今年度からは、1学期中間テストは、定期テストという形をとらずに、各教科ごとに、単元テストや章末テスト、記述テストやレポート提出等の方法により、これまでの学習の定着を確認し、思考力や表現力、学びに向かう力などを高めたいと考えています。

保護者の皆さまに置かれましては、なぜ中間テストがなくなったのか、また、定期テストがなくなり、子どもが勉強しなくなるのではないかと、というようなご心配をされるところかと推察いたしますが、1学期中間テストに変わるもの、そして、今後の定期テストの内容などにも改革を加えながら取り組んでまいりたいと考えております。

「湖西の風」において既にお伝えしており、本校では、学校教育目標の具現化に向け、多様な学びや体験を仕組み、非認知能力を高めていくことを目指しております。

非認知能力とは、『見えない学力』とも言われ、『人を大切にする力』『自分の考えをもち、表現する力』『チャレンジする力』などをさします。学校の成績や学力である『見える学力』(認知能力)を高めるには、自分の頭で考え行動できる力である『見えない学力』(非認知能力)を高めることが大切であるという認識に立ち、授業改善やテストの方法・問い方などを変えることが必要と

考え、授業などを進めているところです。このことは、文部科学省が、ペーパーテストのみならず、論述やレポート作成、発表、グループでの話し合い等から評価する必要があるとしていることにもつながります。

令和8年度高校入試(現2年生が受検)から大きく入試制度も変わり、生徒の資質、適性、能力をみることにつながる、学校独自型選抜、また、それに伴い様々な検査方法の導入が検討されています。そういった変化にも対応できる力を付けていかなければならないとも考えております。

ご理解を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

英語CBT

22日(水)には、全国学力学習状況調査の英語検査があります。CBT試験は、コンピュータを利用してオンライン上で受けるテストです。今後数年間、湖西中学校は、この英語CBTを受ける予定です。今回は、『書く』『聞く』『話す』についての調査です。

3年生の皆さん、がんばってください。

生徒総会・選手激励会

スローガン「むすび ～湖西の未来は無限大～」のもと、14日(火)に生徒総会を行いました。

総会をすすめた議長、質問や意見のために演台に立った学級代表者、説明・回答した生徒会執行部、誰もが堂々とした態度でした。また、意見や執行部の回答に対しては、全体から賞賛の拍手が起きました。大変素晴らしい雰囲気、生徒全員の、湖西中学校生徒会を大事にしようとする気持ちを感じました。

総会後は、春季総体に向けて、応援団が選手を激励しました。力のこもった『行け行けコール』や三々七拍子に続き、応援団のリードで、全員で応援歌を歌いました。

3年生の腕の見せ所と期待していましたが、しっかり力を見せてくれた時間になりました。

